



日本劇作家協会の活動の 一部をご紹介します。

劇作家協会の活動は手づくりです。会員一人一人が興味をもった活動に参加しています。プロ、アマチュア、ジャンル、世代などの垣根を越える感じが楽しいです。もちろん「会報を読むだけ」「懇親会だけ」という参加の仕方もOKです。

● 劇作家の権利を守る活動

「劇作家の最低上演料に関する決議」を採択し、「著作権、上演権などに関する共同提言」を(社)日本劇団協議会とともに行うなど、劇作家の権利を守る活動をつづけています。

● 新人戯曲賞

2019年に第25回を迎えた新進劇作家の登竜門。毎年、審査は公開で行われ、演劇界が注目するイベントにもなっています。最終審査に残った作品は、「優秀新人戯曲集」に収録され出版されます。

● 戯曲セミナー

第一線で活躍する劇作家たちが講師をつとめます。2001年の開講以降、1000人以上の卒業生を送り出しました。プロになり活躍中の人も多数。「研修課」ではマンツーマンやゼミ形式の指導を行い、将来の演劇界をけん引しうる劇作家の育成を目指します。

● 劇作家大会

日本中の劇作家が一堂に会する「劇作家大会」は演劇界を元気にする大イベントです。1994年北九州、1996年盛岡、1999年札幌、2005年3月熊本、9月長久手、2014年豊岡、2019年1月大分、そして8月上田・・・開催地の活性化にも貢献しています。

● 座・高円寺 劇作家協会プログラム

東京・杉並区とパートナーシップ協定を結び、「座・高円寺」の上演ラインアップづくりや、演劇資料室[アーカイブ]に協力をしています。

● 月いちリーディング

俳優によるドラマリーディングの後、観客も含めた全員でディスカッションを行い、戯曲をブラッシュアップします。劇作家・演出家・俳優・制作者、そして観客の出会いの場でもあります。座・高円寺(東京)をはじめ、全国の支部主催で随時開催中。

● 翻訳戯曲出版と海外交流

1950年代から90年代までの日本の代表的作品を網羅した「HALF A CENTURY OF JAPANESE THEATER」(全10巻)など、英訳・仏訳の戯曲を出版し、日本の戯曲を海外に紹介しています。また、国際交流部では海外の演劇人との交流を深めています。

● オンデマンド出版／電子出版

一度は読みたかった名作戯曲から、現役作家の未出版戯曲まで。「二十一世紀戯曲文庫」として、戯曲のオンデマンド出版・電子出版をしています。

● 震災支援

2012年の「震災 SHINSAI:Theaters for Japan」で集められた寄付金を活用し、震災と演劇に関わる情報を収集、発信しています。東北支部が「震災演劇連絡センター」を、また高校演劇委員会が「震災高校演劇アーカイブ」を設立しました。

● 会報「ト書き」

年に2回、活動報告や読みごたえのある記事がたっぷりの会報「ト書き」を発行。全会員に送付します。公演の優待情報やニュース性の高い情報はメールマガジンでお届けします。

● 交流・親睦

さまざまな活動を通じての交流や、折にふれての親睦会など、劇作家同士がふれあう機会がたくさんあります。プロ、アマ、世代やジャンルを超えて語り合しましょう。

※ そのほか「せりふを読んでみよう」「リーディングフェスタ 戯曲に乾杯!」などのワークショップや公開講座、「鶴屋南北賞」への協力など多彩な活動を行っています。